表取締役、青木崇通さん(4)は「元気で健康な牛を育てるのに『元原料になる木材は国内調達のため安定供給が可能。 青木牧場の代

気森森』は強い味方になる」と話す。

牛の健康を最優先

飼料に関する青木さんの

飼料販売会社から「消化が たのは2023年7月ごろ。 来の「元気森森®」と出合っ そんな青木さんが木材由

健康に良いこと」。

牛が食べ

ポリシー

は何よりも「牛の

た餌の栄養分を分解し、

工

に変換する上では

からスタートし、その後F頭の黒毛和牛を肥育。酪農現在、青木牧場は175 牧場の3代目だ。 移り変わっている。 てる牛の品種も黒毛和牛と (交雑種)、この10年で育 その おなかを下し にして んな商品を一度は試すよう もあった。 かし品質が安定せず、 メーカーが紹介するいろ青木さんはさまざまな飼

果があるのか、 は分からないことが多いの 飼料が牛にとってどんな効 いる。 ただ はっきりと その

しまうこと

式会社。原料の木材は国内を開発したのは日本製紙株 で調達し国内工場で製造す

になりだるそうにしている をするし鼻水も垂らす。 牛も風邪をひくと、

た発酵飼料を使用している。 は微生物により発酵処理したす。そのため青木牧場で F1を育てていたころは

0%消化されるのも魅力 比率が高く、 ほぼ

下痢の症状が改善 養牛用飼料 [元気森森®]

を尽くしたが、 ばしばだ。 草を多く食べると、 せるためミルクだけで育て ると軟便や下痢の症状が改 子牛に「元気森森®」を与え まくいかなかった。そんな 良で下痢を起こすことも られた子牛が牧場に来て牧 子牛は環境が変わるとしば しば軟便になる。また太ら 青木さんはいろいろと手 なかなかう 消化不

安定供給が見込める

国産原料を使

「元気森森®」 は青木さんの ような畜産業者にとって強 牧場でのんびり過ごす牛

地を開拓して設立した青木めに祖父の良一さんが現在を継いだ。昭和40年代の初

発酵飼料を与えていた。

して

ジや焼酎の搾りかす主体の

ル粒、

黒毛和牛

の会社員を経て28歳で家業高校を卒業後、自動車関係

いたという青木さん。工場を継ぐだろう」と思っ

工業

いころから漠然と

たちを世話しながら、自然

とに加え、繊維質もたっぷりという粗飼料のメリットも併せ持つ。 「元気森森®」は木材が原料。 に信じられないのではないか。 るのが、 木から作った餌を食べて牧場の牛が元気に育つな 深谷市の青木牧場だ。同牧場が使っている日本製紙の 濃厚飼料並みのエネルギーを持つこ そんな驚きの飼料で効果を感じて んて、 にわ

元気森森®を配合した飼料を食べている子牛

化率は97%という高レベル でも最も重要なルーメン (第 あるTDN (可消化養分総 生かされている。 けを取り出す。粗繊維の消 菫) は乾物中で95・6%。 しかも四つある牛の胃の中 内でゆっくり消化さ メンは良好な状態を

ギーを摂取できるため、牛維持し、たっぷりとエネル な効果が期待できるという の健康と体力の維持に大き 牛が生後約25カ月になる

もっと国産飼料を

ると600グラムに増量すえている。21~25カ月にな 牧草や発酵飼料に配合し与 0グラムの「元気森森®」を と出荷する青木牧場では、 4~20カ月の牛に1日30 青木牧場は生後4カ月の

しているが の飼料を使っていた 地球温暖化や産地の干 牛たちの命を

雄の子牛を購入

がったように、外国産飼料牛にBSE(狂牛病)が広 は安全面の不安がぬぐえながったように、外国産飼料 は輸入品の占める割合が大 輸入に頼っている。特に穀日本は畜産飼料の多くを に輸入した肉骨粉を食べた しかし、

処理を施して牛が消化しや などをチップ化 ここにも日本製紙の技術が 栄養価を評価する指標で い繊維 (セルロース) だ

変力が上がってきたのでは」 栄養もしっかり吸収して免 、「ルーメン環境が良くなり、 牛も減った。青木さんは



木から生まれた牛のエサ

元気森森

## 向上で を目指す

人にも牛にも 環境にもやさしく 外的要因に 左右されにくい

国内製で安定供給

原料が国内調達した木材 ◎国内工場で製造している

センイで消化が緩やかな高エネルギー源

◎良好なルーメン環境維持 ◎高エネルギー摂取

◎成分中のセンイ(セルロース)比率が高い ◎粗繊維の消化率97% 乾物中のTDN95.6% ◎健康維持及び体力維持 ◎ルーメン内の消化スピードは緩やか

実際の 導入事例は コチラ!



消化率向上

枝肉重量增量

繁殖成績改善 子牛の健康維持

サンプル・資料請求の お問い合わせはコチラ

TEL.03-6665-1020 FAX.03-6665-0337







日本製紙株式会社